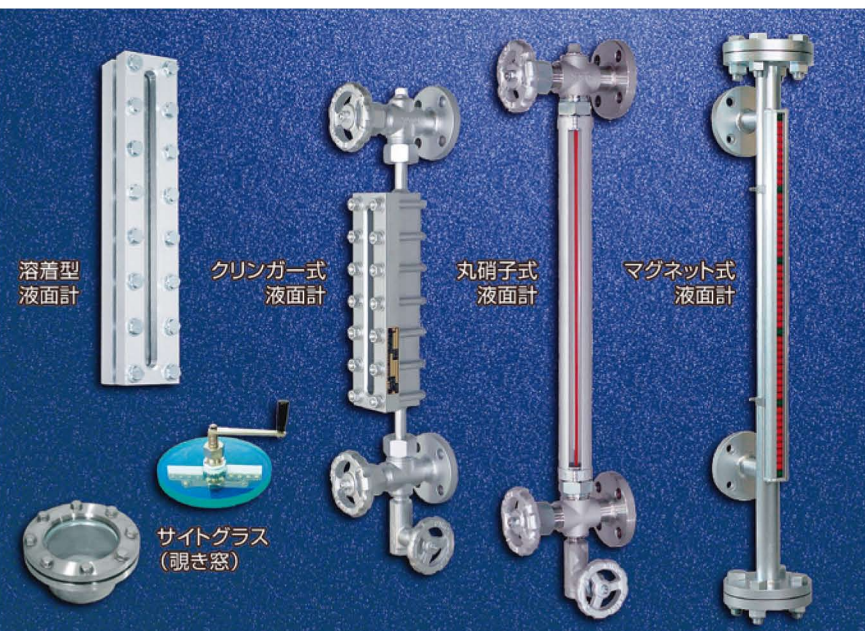


日本計器株式会社

現場ニーズに合った液面計を オーダーメイドで提供

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



オーダーメイドでつくられる液面計の数々

業務内容

タンク内の液体量を測定する
液面計・水面計を製造

化学プラントや石油タンク、船舶用補助ボイラー等の中の液体量を調べる液面計を、創業以来50年以上つくり続けていた日本計器。現在、船舶用と陸用の割合は同等で、国産の船用補助ボイラーの液面計は国内シェア80%を誇る。過去に取りつけた液面計のバルブ、ガラス等の交換といったメンテナンスも行う一方、最近では遠隔操作でタンク内の液量を計測できる機器を開発する等、長年のノウハウを活かしたもののづくりにも注力している。

強み

設計から生産まで
一貫したオーダーメイド

「プラント等の現場では規格品の液面計が適応しないことも。当社では、長さや幅等、用途や状況に合わせた製品をすべて受注生産で、設計・提案から生産まで一貫して行っています」と安田社長。中の液質や比重によってフロートの材質や重さを調整するというこだわりも同社ならではの。

各種旋盤や溶接等の設備を備え、部品等の社内受給率は70%を維持。外注しない分、安く早く製品を提供でき、通常なら仕様書を受け取ってから1か月、急ぎの場合は約1週間での納品も可能だ。さらに昭和48年からの製品の図面を保管しているため、メンテナンスも安心して任せられるのが強みだ。

社開

マグネット式液面計で
現場の安全に貢献

同社が昭和49年に開発した「マグ

ネットローラー式液面計」は、画期的な製品だ。従来は中の液体を見やすくするために丸硝子の使用が主流だったが、高熱等でガラスが割れる危険性があり、また、ガラスの内面が液体で汚れて見づらいという難点があった。

しかし、マグネット式液面計はコラム内のフロートの磁力で、指示器内部のローターを回転させて液位置を測定する仕組み。ゲージの破損や液漏れもなく、防爆、耐圧、耐食、耐震等、優れた性能があるため、危険物タンクでも安心して取りつけられる。さらにポンプのオン・オフをマグネットの力で制御でき、電

源が不要なのもメリットの一つだ。

一方で液面計の内部をテフロン加工し、耐食性を高めた自社独自の製品も提供している。

今後の展望

さらに性能を高め
多種多様なニーズに応えたい

「液面計は規格品だけとあきらめている現場が多いようです。今後はもっと細かいニーズにお応えしたい」と安田社長。ローターの色を見やすくしたり幅広いサイズの加工をしたりと新たな構想を練る。また、今後は新エネルギーの燃料電池として水素タンクの需要が高まることを見越し、防爆性に優れた製品を提供したいとも語る。



マグネットでオン・オフを制御するセンサ類

COMPANY PROFILE

日本計器株式会社

ISO 9001

当社の歴史

昭和35年に安田鉄工所として創業して以来、液面計、水面計一筋につくり続けてきました。昭和45年に当社を設立し、マグネット式液面計の開発等現場の使い勝手を第一に考えたもののづくりを続けてきました。平成7年に私が会社を引き継いでからも、その姿勢は一貫しています。現状で安心することなく、今後もより良い製品を提供したいと考えております。

商品は会社の顔。高性能でオリジナルな製品づくりをしていきたいですね。

代表取締役 安田 雅章さん



■主な事業内容

マグネット・クリンガー・丸硝子式液面計、船用ボイラー用水面計、サイトガラスの製造・販売等

■主な取引先(納入先)

商社、造船関係、化学プラントメーカー、製缶業者等

住所／〒582-0027

柏原市円明町

1000-144

TEL／072-977-5431

FAX／072-977-1388

創業／昭和35年10月

設立／昭和45年10月

資本金／1,800万円

従業員／19名

<http://www.nihonkeiki.com/>